



SnapMirrorアクティブ同期を管理する

ASA r2

NetApp
February 11, 2026

目次

SnapMirrorアクティブ同期を管理する	1
ASA r2 システムでサードパーティの証明書を使用するようにONTAP Mediator またはONTAP Cloud Mediator を再設定します。	1
ステップ1: メディエーター構成を削除する	1
ステップ2: 自己署名証明書を削除する	1
ステップ3: サードパーティの証明書を使用してメディエーターを再インストールする	1
SnapMirrorアクティブ同期関係でASA r2 クラスタの計画されたフェイルオーバーを実行する	2
ASA r2 クラスタの予期しないフェイルオーバー後にSnapMirrorアクティブ同期関係を再確立します。 ...	3
ASA r2 システム上のSnapMirrorアクティブ同期関係を削除します	3
ステップ1: ホストレプリケーションを終了する	3
ステップ2: SnapMirrorのアクティブ同期関係を削除する	4
ASA r2 システムからONTAP Mediator またはONTAP Cloud Mediator を削除します。	4

SnapMirrorアクティブ同期を管理する


ASA r2 システムでサードパーティの証明書を使用するようにONTAP Mediator またはONTAP Cloud Mediator を再設定します。


自己署名証明書を使用してONTAP Mediator またはONTAP Cloud Mediator を設定する場合は、サードパーティの証明書を使用するように Mediator を再設定できます。セキュリティ上の理由から、組織ではサードパーティの証明書が推奨または要求される場合があります。

ステップ1: メディエーター構成を削除する

メディエーターを再構成するには、まずクラスターから現在の構成を削除する必要があります。

手順

1. システム マネージャーで、保護 > 概要 を選択します。
2. 右側のペインの*メディエーター*の下で、 削除するメディエーター構成を持つクラスター ピアの横にあるをクリックし、[削除] を選択します。


複数のメディエータがインストールされていて、すべての構成を削除する場合は、 *メディエーター*の横にある[削除]を選択します。

3. 削除 を選択して、メディエーター構成を削除することを確認します。

ステップ2: 自己署名証明書を削除する

メディエーター構成を削除した後、関連付けられている自己署名証明書をクラスターから削除する必要があります。

手順

1. [* Cluster]>[Settings] (設定) *を選択します。
2. *セキュリティ*の下で、*証明書*を選択します。
3. 削除する証明書を選択します。
4. を選択し、* Delete *を選択します。

ステップ3: サードパーティの証明書を使用してメディエーターを再インストールする

関連付けられている自己署名証明書を削除した後、サードパーティの証明書を使用してメディエーターを再構成できます。

手順

1. *保護 > 概要*を選択します。
2. 右側のペインの「メディエーター」の下で、「メディエーターの追加」を選択します。

3. *メディエータータイプ*を選択します。
4. クラウド*メディエーターの場合は、組織ID、クライアントID、クライアントシークレットを入力してください。*オンプレミス メディエーターの場合は、IP アドレス、ポート、メディエーター ユーザー名、およびメディエーター パスワードを入力します。
5. 適格なクラスター ピアのリストからクラスター ピアを選択するか、[クラスター ピアの追加] を選択して新しいクラスター ピアを追加します。
6. *証明書*の下に、サードパーティの証明書情報を入力します。
7. 「*追加」を選択します。

結果

ONTAP Mediator またはONTAP Cloud Mediator は、サードパーティの証明書を使用するように再設定されます。メディエーターを使用してSnapMirrorアクティブ同期関係を管理できるようになりました。


SnapMirrorアクティブ同期関係でASA r2 クラスターの計画されたフェイルオーバーを実行する

SnapMirror Active Syncは、セカンダリサイトにデータのコピーを作成し、災害発生時にホストアプリケーションを自動的かつ透過的にフェイルオーバーさせることで、ビジネスクリティカルなアプリケーションの継続的な可用性を実現します。フェイルオーバープロセスをテストしたり、プライマリサイトでメンテナンスを実行したりするために、SnapMirror Active Sync関係の計画的なフェイルオーバーを実行する必要がある場合があります。

開始する前に

- SnapMirrorアクティブ同期関係が同期されている必要があります。
- ストレージ ユニットの移動などの中断を伴わない操作が進行中の場合は、計画されたフェイルオーバーを開始することはできません。
- ONTAP Mediator またはONTAP Cloud Mediator が設定され、接続され、クォーラム状態になっている必要があります。

手順

1. *保護 > レプリケーション*を選択します。
2. フェイルオーバーするSnapMirrorアクティブ同期関係を選択します。
3. 選択  ; 次に、[フェイルオーバー] を選択します。

次の手順

使用 `snapmirror failover show` ONTAPコマンドライン インターフェイス (CLI) でコマンドを使用して、フェイルオーバーのステータスを監視します。

ASA r2 クラスタの予期しないフェイルオーバー後にSnapMirrorアクティブ同期関係を再確立します。


ASA r2 システムでは、SnapMirror Active Sync は対称型アクティブ / アクティブ構成をサポートします。対称型アクティブ / アクティブ構成では、両方のサイトがアクティブ I/O のためにローカル ストレージにアクセスできます。ソース クラスタに障害が発生した場合、またはソース クラスタが分離された場合、メディエーターは自動計画外フェイルオーバー（AUFO）をトリガーし、ソース クラスタが回復するまで、デスティネーション クラスタからのすべての I/O を処理します。

SnapMirror アクティブ同期関係の AUFO が発生した場合は、関係を再確立し、元のソース クラスタがオンラインに戻った後に操作を再開する必要があります。

開始する前に

- SnapMirrorアクティブ同期関係が同期されている必要があります。
- ストレージ ユニットの移動などの中断を伴わない操作が進行中の場合は、計画されたフェイルオーバーを開始することはできません。
- ONTAP Mediatorが設定されて接続され、クォーラムを構成している必要があります。
- 失われた I/O パスを回復したり、ホスト上の I/O パスの状態を更新したりするには、プライマリ ストレージ クラスターが操作を再開した後、ホスト上でストレージ/アダプタの再スキャンを実行する必要があります。

手順

1. *保護 > レプリケーション*を選択します。
2. 再確立する必要があるSnapMirrorアクティブ同期関係を選択します。
3. 関係ステータスに「InSync」と表示されるまで待ちます。
4. 選択  ; 次に、[フェールオーバー] を選択して、元のプライマリ クラスターで操作を再開します。


ASA r2 システム上のSnapMirrorアクティブ同期関係を削除します

ビジネス アプリケーションに対してほぼゼロの RPO と RTO が必要なくなった場合は、関連付けられているSnapMirrorアクティブ 同期関係を削除して、 SnapMirrorアクティブ 同期保護を削除する必要があります。ASA r2 システムでONTAP 9.16.1 を実行している場合は、 SnapMirrorアクティブ同期関係の整合性グループに特定のジオメトリ変更を加える前に、 SnapMirrorアクティブ同期関係を削除する必要がある場合もあります。

ステップ1: ホストレプリケーションを終了する

ソース クラスタのホスト グループが宛先クラスタにレプリケートされ、宛先コンシステンシ グループがレプリケートされたホスト グループにマップされている場合は、 SnapMirrorアクティブ同期関係を削除する前に、ソース クラスタでホスト レプリケーションを終了する必要があります。


手順

1. System Managerで、*[ホスト]*を選択します。
2. 複製を停止したいホストグループを含むホストの横にあるをクリックし、[編集]を選択します。
3. *ホスト構成の複製*の選択を解除し、*更新*を選択します。

ステップ2: SnapMirrorのアクティブ同期関係を削除する

整合性グループからSnapMirrorアクティブ同期保護を削除するには、SnapMirrorアクティブ同期関係を削除する必要があります。

手順

1. System Managerで、*[保護]>[レプリケーション]*を選択します。
2. *ローカルの送信先*または*ローカルのソース*を選択します。
3. 削除したいSnapMirrorアクティブ同期関係の横にある; 次に、[削除]を選択します。
4. *ソース整合性グループのベーススナップショットを解放する*を選択します。
5. 「*削除」を選択します。

結果

SnapMirrorアクティブ同期関係が削除され、ソース整合性グループのベーススナップショットが解放されます。整合性グループ内のストレージユニットは、SnapMirror Active Syncによって保護されなくなりました。

次の手順

"[Snapshotレプリケーションのセットアップ](#)"バックアップと災害復旧のために、整合性グループを地理的に離れた場所にコピーします。

ASA r2 システムからONTAP Mediator またはONTAP Cloud Mediator を削除します。

ASA r2 システム上のSnapMirrorアクティブ同期では、一度に1種類のメディアエーターのみ使用できます。メディアエーターの種類を変更する場合は、別のインスタンスをインストールする前に現在のインスタンスを削除する必要があります。

手順

ONTAP Mediator またはONTAP Cloud Mediator を削除するには、ONTAPコマンドラインインターフェイス (CLI) を使用する必要があります。

ONTAP Mediator

1. ONTAP Mediatorを削除します。

```
snapmirror mediator remove -mediator-address <address> -peer-cluster  
<peerClusterName>
```

例：

```
snapmirror mediator remove -mediator-address 12.345.678.90 -peer  
-cluster cluster_xyz
```

ONTAPクラウドメディエーター

1. ONTAP Cloud Mediatorを削除します。

```
snapmirror mediator remove -peer-cluster <peerClusterName> -type cloud
```

例：

```
snapmirror mediator remove -peer-cluster cluster_xyz -type cloud
```

関連情報

- ["スナップミラーメディエーターの削除"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。